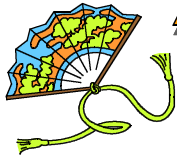


## 学習のページ



### 「何のために古典を学ぶのか」

国語科 中村 淳子

長いようで短い一年でしたね

「何のために古典を学ぶのか」という問いかけは、戦後直後から教育現場に提起され、1970年代以降、無視することができない大きな問いかけとして今日に至っています。

レポートの中でも、私は折に触れ、「古典を学ぶ意義」についてみなさんに問いかけてきました。さて、みなさんは、この一年で、古典から何を学び、何を得たのでしょうか。

本稿では、以前、みなさんにお約束したように、みなさんの意見をご紹介します。これからは是非、古典を学び続けてくださることを心から祈って。

#### 生徒さんのレポートから一部抜粋

「源氏物語」の光源氏や「枕草子」などは、聞いたことはありました。

しかし、内容があまりわからない話ばかりでした。約一年間、古典を勉強させていただき、最初は難しいな、と思っていたのですが、そのうちに、物語や登場人物の人間像がわかっていき、「こんな人もいたんだなあ」とその人物に対しての興味や尊敬の気持ちを持つことができました。

この一年間古典を学んでいなければ、古典嫌いのまま、何も感じることはできなかったでしょう。古典を学ぶことができ、本当によかったと思います。これからも色々な本を読み、遠い昔であっても今と変わらない人々や、今では考えることもできない事を頭の中で描いてきた人々と出会っていきたいです。R・I

初めは何が書かれているか意味もわからず戸惑いながらの学習でした。

まず、古典の言葉に「慣れる」には、何度も読むことであり、その意味を学習書・辞典などで理解することによって、言葉のはばが広がり、自分の知識となることがわかりました。

また、昔も現在に生きる私たちも同じように乗り越えてきたのだ、という事がたくさんあることがわかりました。自分が知ることができないような部分への想像力も膨らみました。

豊かな感受性が描かれている物語にはとても感慨深いものがあり、現代に生きる私達にもとても参考になることがたくさんあると思います。

古典の言葉の意味がわかればわかる程、ものの考え方の幅が広がり、何事に対しても前向きな理解ができる人間になれると思いました。結果としては、今も昔も同じだということを知る事は、大切であると思いました。S・O

あわただしく時間が流れていく現代の生活の中で、時には昔の人々の生活の様子や、考

え方、感じ方にふれて、人間についてあらためて、考える。…そんな時間を与えてくれるのが古典だと思います。K・K

私的に、古典文学の栄えた平安時代が一番優雅で素敵な時代であり、生まれ変わることができるなら生まれてみたい時代です。

特に「源氏物語」を学ぶことで、その奥の深さと男女の言葉の色に驚かされ、現世では考えられない優雅さを感じました。その中でも光源氏の女性遍歴を汚れたものではなく、美しく仕上げ、仏道を入れながら描いている表現力に心ひかれました。

私はもうすぐ 40 歳になります。これから年を重ねるにあたってこれからも、少しずつ勉強して、素敵な女性になれるよう参考にしていきたいと思います。

この一年の勉強は心に残るとてもよい時間でした。ありがとうございました。M・M

古典とは、読める化石だと思う。二百年なら二百年前の作者の思いや、考え方、生活など、そのままの声を読み取れる。こんなすばらしいことはないと思う。そこに作者は確かに生きていて、話が出来ないものの、話をきく事ができる。まるでタイムマシンだと思う。古典を学ぶ意義はそれだけではないだろう。けれど、私はその事に一番おもしろさを感じる。M・O

昔の人の考え方や生き方は、今を生きる私達にとって、良い参考になると思います。古典のおもしろいところは、時代を超えて、作者や登場人物の考え方に接することができることだと思います。それによって、昔の人と、文学の世界・時間を共有しているのだと思います。古典は難しいというイメージを以前は持っていましたが、話の内容は決して難しくはなく、学習書の現代語訳を参考にすれば、スムーズに学習は進むので、今では楽しむ余裕も出てきました。K・K

「古典」？なにそれ？が一番はじめの思いでした。なにに役立つのかもわからんし、まず、何を言っているのかもわからんしで…困りました。

でも、学習していくうちになんとなく理解し、今を生きる人よりも、昔の人の方が想像も言葉にしても豊かにつかっているし、言葉の遊びというか、言葉のチョイスに感心しました。そして、今も昔も同じ様な事で悩み、苦しみ、戦ってきたんだと思いました。

こうして学習を終えた今、「古典」は今も昔もそんなに変わりはないんだ！今を生きる、これから生きていく人々に教えてくれているのかな？と思いました。

最近読んでいない本ですが、また読み出して、昔の人の様に言葉で遊べる位になりたい！！本当に本を一杯読もうと思いました。古典ありがとー。M・K

古典作品はわかりにくい、難しいというイメージがあって、あまり好きではありませんでした。

だけど、今の時代と同じような考え方や行動があったりして、共感できるところがたくさんありました。「大鏡」の「真面目ぶっている人は話しかけにくい」という指摘や、「更級日記」での「夢見がちな想い」は、とてもよくわかりました。古語の意味や文法を覚え

て、もっとたくさん作品を読みたいと思いました。K・M

古典を学ぶ意義は、歴史上の偉大な人物の考え方や行動を勉強できるところにあると思います。人間の一生は短く、同じ時代に生きる人との交流だけではわずかなことしか知ることができません。

ですが、様々な時代の様々な立場から描かれた古典作品を読むことで、考えに深みや幅ができてくると思います。また、現在の表現とは違う、私達から見ると新鮮や表現もたくさんあり、表現の難しさ、楽しさを学ぶこともできます。

一瞬で読み流すのではなく、何度も読んで、ようやく理解できる文章があったり、読むごとに新しいことに気づくことができる文章が多いので、身近に何冊か置いて、長い時間をかけて楽しみたいと思います。M・M

中学生の頃国語の教科書で古典に触れた事がありましたが、その頃は若かったせいか、あまり興味が持てませんでした。

けれども、大人になり、今、古典を学んでいると昔の自分では想像がつかないくらい面白いことに気がつきました。「源氏物語」も好きですが、漢文の「論語」や、「史記」、特に「項羽と劉邦」の話が好きになりました。

頭の中で、イメージを膨らませる事が出来れば、古典は、どの教科よりも楽しいのではないかと思います。

孔子はこんな言葉を残しています。「学んでも自分で考えないと、勉強する意味がないよ」と。それは、ごもっともであります。古典は、なくてはならない文学であり、自分に衝撃を与える程の作品に巡り会ったら、その作品は一生忘れられない宝物になるのです。

M・M

